

案件名 武豊町水道事業ビジョン (案)

募集期間 令和3年1月6日～令和3年2月5日

担当課名 上下水道課

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
1	1	P.12～16 に記載の業務指標の数値が2017年度とあるが、最新の数値を現況とすべきではないか。	2018年度の数値が2020年10月末に公表されましたが、2018年度は職員の異動の関係で、例年と数値が大きく異なり、経年推移や他団体との比較に適さないと判断し、2017年度の数値を採用しました。
2	1	原案に記載の0.8%の更新率で、10年後の経年化率はどの程度になっているのでしょうか。 P.23 管路更新率は経年化率を下げるための手段であり、経年化率の目標を定めるべきと思います。財政面や管路の重要度は別途考慮する必要はあるが、その目標値を定めることにより、更新率が決まってくるのではないか。	基幹管路を優先した更新率0.8%では、10年後(2030年度)の管路経年化率は約32%となる見込みです。 ご指摘のとおり、経年化率を下げることは重要ですが、P.30に記載のとおり、今後、管路更新需要は高まっています。経年化率の目標値を定め更新を行うと、投資費用の平準化が難しく、財政面悪化の可能性もあります。 投資費用の平準化と財政面の健全性を保ちながら管路の更新を進めるためには、管路更新率を目標に定めることが有効と判断しました。 その上で、管路の更新をより推進していくため、これまでの本町や他団体の更新率(0.5～0.7%) (P.23)を上回る、0.8%及び1.0%を目標に決めました (P.34)。
3	1	P.36「富貴ポンプ場、自家発電設備を設置する」とあるが、P.5記載の富貴ポンプ場増圧ポンプ(経過年数29年)の更新も含まれるか。そういった旨の記述をした方がよい。	富貴ポンプ場の電気機械設備の更新に合わせ、自家発電設備を設置する予定です。P.36の本文中にその旨、追加しました。

4	1	<p>P.34～39 施策目標や計画について、もう少し具体的内容を記載すべきではないか。</p>	<p>本ビジョンは、主に水道事業の目指すべき理念と目標、投資財政計画を示すものであるため、電気機械設備の更新や管路の更新等の個別計画について、具体的内容や時期を詳細に記載することはしていません。しかしながら、各計画に基づく更新費用等を試算し、投資財政計画に反映しております。</p>
5	1	<p>水道事業ビジョンと下水道事業経営戦略で、経過年数の基準がずれていると思われます。同一課から同時期に配信される文書であり、基準は統一すべきと思いますが如何でしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、水道事業ビジョンを下水道事業経営戦略に合わせ、年度を基準とした表記に統一し修正しました。</p> <p>(下水道事業経営戦略(案)へパブリックコメントの提出がありましたが、水道事業ビジョンへご意見を反映しました。)</p>